

# 延命地藏尊法要厳修

施主：小山 隆佳



# 聖天堂開扉法要

九月十二日(土)～十三日(日)



# 第九箇度 霊峰富士登拝修行

八月二十一日(金)～二十六日(水)



霧に包まれる富士山中の岩場を登る



来年の登頂を誓い、高尾山麓不動院にて記念撮影

八月二十一日より二十六日まで、今回で第九箇度を数える霊峰富士登拝修行が行われました。

二十一日に高尾山麓の蛇滝にて滝行を行い、高尾山に参籠。翌早朝、高尾山富士浅間社にて道中の無事を祈り法案をあげ、富士山頂を目指し、徒歩修行を開始しました。

修行の道中では、初日は気温が高く、その後は台風の影響で雨に見舞われました。八合目の元祖室まで辿り着きましたが、残念ながら悪天候により、富士山頂への登山を断念することとなりました。

その後、高尾山へ戻り柴燈大護摩供を厳修し、怪我人や急病人もなく、皆が無事に高尾山へと帰って来たことを喜び、来年の登頂を心に誓いました。

# ミュンヘン大学 日本文化研修生 高尾山で峰中修行を体験



去る九月十七日、大正大学の交換留学制度で日本に滞在されている、ドイツ・ミュンヘン大学の日本文化研修生と引率を合わせて十一名が、初秋を迎え肌寒さを感じる高尾山へ、峰中修行のため来山されました。

初日は高尾山上にて、担当の僧侶の指導を受けて、慣れない正座を交えながら硯で墨を磨り、筆を用いて仏様のお姿を写しとる「写仏」や、「腕輪念珠作り」を行いました。

翌十八日には、朝五時半からの勤行を体験し、続いて「月輪観」という瞑想をされました。朝食後は前日の雨で濡れている険しい琵琶滝道を「慚愧懺悔六根清浄」と、掛け念仏を唱えながら下り、滝行の後に山麓不動院にて解散されました。



筆を用いて写仏を行う

# 酒場詩人の吉田類さん 初秋の高尾山へ来山

九月二十日、『酒場放浪記』の出演等で有名な、エッセイストで俳人の吉田類さんが、「飲み歩きと散歩コース」をテーマとした著作の取材のため、高尾山へ来山されました。

中原修験部長に案内されて境内各所を参拝されていましたが、賑わった境内にいる大勢の人から握手を求められ、今や吉田さんの人気が不動のものと感じられました。

吉田さんにお話を聞きますと、山登りが好きで高尾山には何度も訪れているとのこと。確かにテレビで見るとほろ酔いのお姿と違い、よく登山をしている筋肉質の体格の良い方でした。

この日も山頂へと向かわれた後、徒歩で城山・小仏から相模湖方面へ下山されました。



境内を案内されて大本堂前で記念撮影